

CoderDojo三島沼津の継続発展

CoderDojo三島/沼津

団体概要

[設立・理念・ミッション]

子どもたちにプログラミングは創造的で楽しいと感じてもらうことを目的として設立した。

「ニンジャ（参加者）が作りたいものをサポートする」を基本理念とし、プログラミングを教えるのではなく、子どもたちが試行錯誤し、学びあい、自分たちで解決するのを手助けする。

[活動内容]

- ・ 会場でプログラムを作成し、発表しあう。

[活動場所]

- ・ 国立沼津工業高等専門学校の実験室をお借りして開催。

[HP]: <https://coderdojo-mn.com> [E-Mail]: kidswsmn@gmail.com

目的

2020年の義務教育におけるプログラミングの必修化にむけ、未来を担う子供達のために、プログラミングを平等に楽しく学べる機会を提供する。

本事業は、アイルランド発祥の世界的なプログラミングボランティア団体であるCoderDojoの1道場として、CoderDojo Foundation(アイルランド法人)の定めた「CoderDojo憲章」に準拠した活動とする。

世界に開かれた団体であることで、日本だけにとどまらず、世界中のニンジャ(※1)と交流し、切磋琢磨することが可能である。

実施概要

定例の「CoderDojo三島/沼津」は以下のとおり実施している

[募集人数・募集方法]

- ・募集人数：親子18組
- ・告知：年に1度広報ぬまづ、広報みしまで告知。ブログ、FaceBookで活動内容を広報。
- ・募集方法：ホームページより応募してもらう。（定員オーバーの場合抽選）

[内容]

14：00～：挨拶

14：05～：アンプラグドプログラミング（アイスブレイク）

14：20～：各自好きなものをプログラム開発（メンターはテーブルごとに配置）

15：30～：テーブル内発表会（テーブル担当メンターがファシリテート）

15：50～：全体発表（メンター推薦の作品を数点プロジェクトに映してニンジャに発表してもらう）

※1 本資料では、全世界のCoderDojoの共通用語である「ニンジャ（子どもの参加者のこと）」を使用します。

手 法

[定例のCoderDojo]

時間：14:00～16:00 会場：沼津高専

第7回2019/5/19(日)

第8回2019/7/21(日)

第9回2019/9/8(日)

第10回2019/11/17(日)

第11回2020/1/12(日)

第12回2020/3/15(日)新型コロナウイルスの影響で中止

- ・参加人数（延べ） 親子79組



[出張Dojo：子どもフェス]

・日付：2019年8月24日 時間：14:00～16:00 会場：富士市交流プラザ2F

・ふじママサロン主催の子どもイベント（1ブース担当）

・参加費：無料

・参加人数:800名（イベント全体）

内容：

・プログラミング体験コース：40分コース×3回（事前予約ですべて満席）

・他、常設パソコンでプログラミング体験コーナーの設置



[出張Dojo in 富士市 (おやこプログラミング)]

- ・日付：2019年9月29日 時間：14:00～16:00 会場：富士市活動センター コミュニティf
- ・おやこそだちの会主催のイベント
- ・参加費：無料
- ・参加人数：親子35組

内容：

- 1.アイスブレイク (あなたをプログラミング)
- 2.プログラミングツールの説明
- 3.プログラミング体験 (保護者含む)
- 4.グループ内発表会
- 5.子どもたちの感想発表、記念撮影



[出張Dojo @沼津テクノカレッジ (ビジュアルプログラミング言語「ビスケット」でプログラミングの世界を体験しよう!)]

- ・日付：2020年2月15日 時間：14:00～16:00 会場：沼津テクノカレッジ (静岡県立沼津技術専門校)
- ・沼津テクノカレッジ (静岡県立沼津技術専門校) とのコラボイベント
- ・参加費：無料
- ・参加人数：親子15組
- ・募集は沼津テクノカレッジ担当

内容：

初心者向けにワークショップ形式で開催

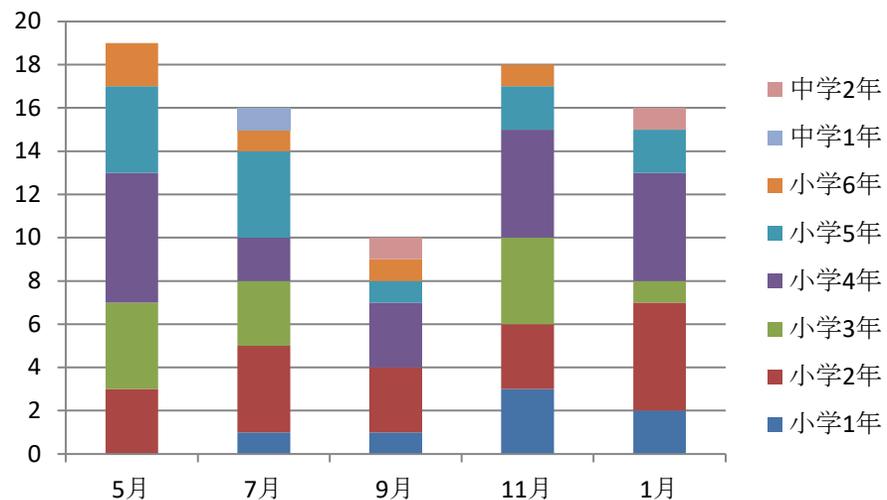
- 1.ビスケットランド (初級)
- 2.動く模様 (中級)
- 3.タッチ (上級)



考 察

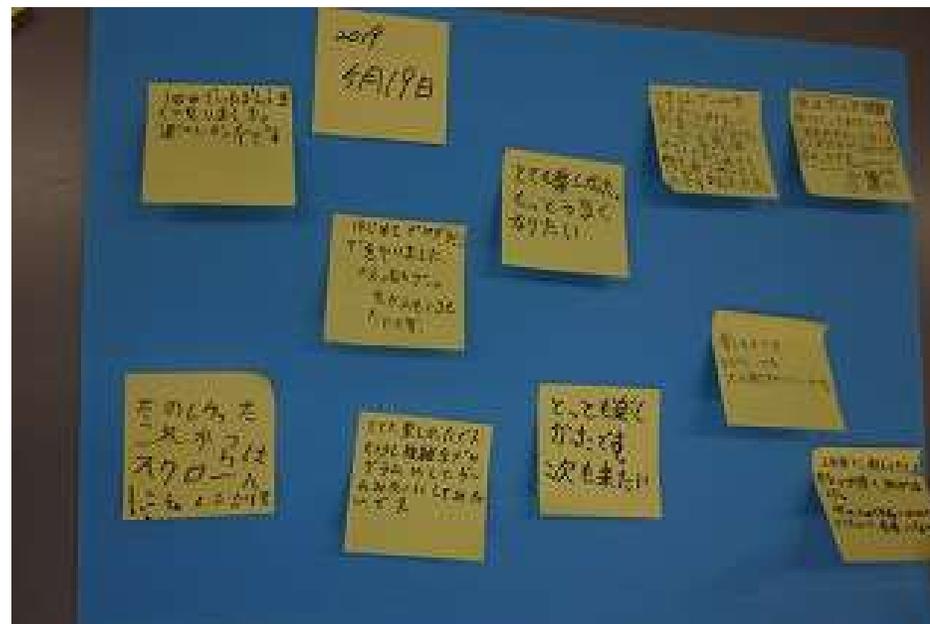
定例のCoderDojoは全て満席で抽選になることも多かった。定例開催だけでは参加者の拡大には限界があるが、今年度は定例開催とは別にワークショップ（出張Dojo）を開催したので、外部への宣伝効果があり、より多くの子供達にプログラミング体験を提供できた。定例Dojoには参加しない層や年代へ最初の一步の体験を提供することで、プログラミングを楽しむ子どもたちの裾野を広げることにも貢献したと感している。（出張Dojoでの参加者は200名以上になる）出張Dojoを通じて、子育てサークルの「ふじママサロン」「おやこそだちの会」や、県立の専門学校「沼津テクノカレッジ」と繋がることできた。とくに、「沼津テクノカレッジ」は、コラボ企画にも意欲的で今後の事業発展に繋がると期待している。

[ニンジャの内訳]



※9月は台風のため参加見送り者が多かった

[ニンジャの声]



今後の課題

今年度は定例Dojo以外に外部団体から依頼され、出張Dojoを行うことができた。出張Dojoによって認知度、参加者の拡大につながった。このような依頼が定期的に来ると、地域のプログラミング教育の裾野を広げることができるため、今後も積極的に受けていきたい。

定例Dojoは、アンケートを見ると満足度が高いので内容は今の形態を継続していく予定である。

現段階の課題として、

- ①参加希望者が全員参加できないこと。
- ②中上級者ニンジヤの技術の向上の機会が少ないを認識している。

②については、抽選のため、継続参加ができないことも由来している。

課題解決のため、

- ・メンターを2手に分けて開催日を増やす。
- ・中上級者向けの技術向上を目的としたDojoを設ける。
- ・技術向上のモチベーションアップを目的に成果発表会を開催する。

(今年度も、沼津テクノカレッジの学祭とコラボして作品発表イベントを実施する予定であったが、コロナ禍のため中止となった)などを考えている。

今後の活動予定

※8/14現在 コロナ禍のため沼津高専が利用できず、開催場所に困っている状況です。